

進路通信10号

1) 期末テスト(テストマナー)

中間テスト、実力テストを終えましたが、実力は発揮できたでしょうか。学習の力はすぐには現れず、後になって成果を確認できることが多いです。

今、努力していることは、これから先の大事な時期に、きっと役立つことになると思います。これまでのテストで力を発揮できなかったかもしれませんが、「こつこつと努力を重ねた人は最後には力をつけている。」ということは、多くの先輩たちが示してきた事実です。

目先のものにとらわれず、目標をしっかりと定め、それに向けて確実な学習を重ねてください。

★テストを受けるに当たっての注意があります。

①テストの開始時間・終了時間は指示に従って必ず守る。

②テスト終了のチャイムが鳴ったら、それ以降は絶対にペンを持たない。

この2点をこれから先、忘れず、定期テストや入試を受験してください。

2) 公立高校 学科内容変更

①府立天王寺高校と府立北野高校は、普通科と文理科を設置する高校でしたが、平成28年度入試より、すべての定員を文理科として募集します。(普通科の募集は停止)

②府立北かわち阜が丘高校、府立豊島高校、府立みどり清朋高校、府立懐風館高校の4校は、普通科総合選択制の学校でしたが、平成28年度入試より、普通科専門コースを設置する「普通科」として募集します。

③府立成城高校は、クリエイティブスクールでしたが、平成28年度入試よりエンパワーメントスクールとして募集します。

3) 資格

現在、数多くの資格が存在し、中学生がチャレンジできるものも多くあります。例として、漢字検定、数学検定、英語検定と呼ばれるものがあります。自分がより多くの知識を得るためや、学習の力を高めるためにこれらの検定を取るとはもちろんのこと、私立高校の中には、これらの検定を評価する学校もあります(ただし、高校により検定の種類の指定があります)。また公立高校入試での自己申告書にも記入できる内容ともなります。

現中学二年生から、公立高校入試の英語に関する変更があります。その中には、資格に関する内容もありますので、詳しくは進路通信7号を見てください。